

平成20年度 科学研究費補助金（特別推進研究）
事後評価結果

研究課題名	不斉自己増殖反応の開拓および超高感度不斉認識・不斉の起源解明への応用	研究代表者名 (所属・職)	碓合 憲三（東京理科大学・理学部・教授）
-------	------------------------------------	------------------	----------------------

研究課題の総合的な評価

該当欄		評価基準
	A+	期待以上の研究の進展があった
○	A	期待どおり研究が進展した
	B	期待したほどではなかったが一応の進展があった
	C	十分な進展があったとは言い難い

評価意見

本研究課題において、研究代表者らは、彼らの発見した不斉自己増殖反応の一般性を飛躍的に拡大させた。すなわち、円偏光や、無機結晶、核酸、アキラル分子のキラル単結晶など、様々な不斉源によって不斉が誘起されることを示し、また、自発的不斉発現や、不斉炭化水素の不斉識別などの新しい概念の提唱や応用にも展開した。これらの成果は、不斉合成反応の域を超え、キラリティーの根源にせまる重要な研究成果であり、特別推進研究にふさわしい期待通りの成果である。研究成果の発信も積極的に行われ、世界中から高く評価されるに至った。